

長尾福祉会報

令和7年4月1日

第51号

のぞみ園 ひな祭り茶会



—長尾福祉会理念— 障害をもっているも なくても 男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

～ ご挨拶 ～

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

前号（第50号）の長尾福祉会報で令和7年度が法人創立30周年ということをご紹介致しましたが、この度、令和6年度優良民間社会福祉事業施設に対する御下賜金伝達式が3月21日に香川県庁でありました。（本号8頁参照）これもご利用者をはじめ地域の皆様や行政機関のご理解とご協力、職員の努力の賜物と感謝申し上げます。この榮譽を励みに、今後も地域福祉の向上に努めて参りたいと思います。

そこで、今年度は地域の子どもの発達支援に貢献する目的で、新たに児童デイサービス事業所「のぞみ児童デイサービス事業所長尾東」をオープンすることとなりました。さぬき市内の子どもの数は減少傾向ですが、療育ニーズは逆に増加傾向にあります。さぬき市内の同様のサービスを行う事業所は現在2事業所しかなく、一部の子ども達は市外の事業所に通わざるを得ない状況でした。新たな事業所でも子ども達の成長発達と保護者様の支援、そして子どもの自己実現の手助けをしていきたいと思ひます。

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

のぞみ園

ひな祭り茶会

事務主任 塚田 裕幸



法人創設30周年を迎えるという記念の年に、6年ぶりとなる地域の方をお呼びしてひな祭り茶会が開かれ、のぞみ園にも新しい春が巡ってきました。

長く足が遠のいていた方々も来園くださり、懐かしさと再会の喜びに会話の花を咲かせつつ、雅楽の音色が流れる中、利用者さんがたてたお茶と、お茶菓子を召し上がられながら、ゆったりとした時間を過ごされていました。

日頃からのぞみ園にご尽力下さる皆様一人一人にお礼を申し上げる機会はなかなかありませんが、一つ一つのご縁を大切に、利用者さんと共に皆様と過ごせて行けたらと思います。



女子寮

秋の遠足

生活支援員 棚田 真依



少しずつ風が冷たくなり、やっと秋らしくなってきた11月、女子寮で秋の遠足が実施されました。みんなでバスに乗り、行先は：「うどん本陣山田家」「道の駅源平の里牟礼」。

山田家では、あつあつのうどんに天ぷら、おでんや稲荷寿司もついており、ボリューム満点!!冷えた体にしみるメニューでした。

帰りの道の駅で買い物をしたり、隣接する広い公園で散歩したりして、皆さん大満足、笑顔いっぱいの日になりました。



男子寮

願いを込めて合掌

生活支援員 間島 義博



1月3日、今年最初の行事である初詣に行きました。皆さんとても楽しみにされており、「何をお願いしようか」と笑顔で話されていました。参拝時には手を合わせて真剣にお願いをされており、しっかりと自分の願いを伝えられて晴れやかな表情を見ることができました。参拝後にはおみくじを引いたり、お守りを購入したりと楽しそうにされていました。皆さんにとって今年の一年が充実した年となりますように。



南寮

テーブルマナー

生活支援員 溝淵 信一



3月13日に南寮のテーブルマナー外出を実施しました。行先はじゃこ丸パーク津田。目の前の瀬戸内海を望みながら、皆さん海の幸の料理を楽しみました。食事の後は白鳥神社まで出向き、由緒ある神社を散策しました。白鳥の松原や日本一低い山の「御山」を歩いて景色を楽しみました。短い時間でしたが、皆さんの笑顔をお土産に帰路につきました。今後楽しい外出行事を計画し実施したいと思います。



通所・就労

ボウリング大会

生活支援員 秋友 誠

1月24日に丸亀スターボウルにて、施設交流ボウリング大会が開催されました。入賞とはなりませんでしたが、皆さん笑顔いっぱい楽しませていただきました。他施設利用者さんとの交流もあり、有意義な時間を過ごすことができました。



もちつき大会

生活支援員 藤重 賢吾

年末恒例の、のぞみ園もちつき大会が12月22日に開催されました。みんなで餅をつくことで楽しい時間を過ごし、今年度は阿波踊り威風連の方の元氣溢れるキレのある踊りを見たり、篠笛の綺麗な音色を聞いたりしました。また最後にはみんなで踊って大盛況で終わることができました。



クリスマス会

生活支援員 大津 奈津美

12月下旬、皆さん待ちに待ったクリスマス会が開催されました。昼食ではクリスマスソングが流れる中で、クリスマスメニューを美味しく食べるに食べられていました。食事が終わると各寮に分かれ、ゲームやカラオケ、バス外出とそれぞれに楽しい時間を過ごされました。その後食堂に集まり、クリスマスケーキを食べるとサンタさんとトナカイさんが登場!!袋いっぱいのプレゼントを渡され皆さん笑顔。楽しい一日となりました。



のぞみ児童デイサービス事業所

お餅つきと鏡開き

児童指導員 安部 政城

年の瀬にもちつきを行いました。白と杵、蒸したもち米を目の当たりにし、子供たちは興味津々の中、重たい杵を職員と一緒に持ちながら、順番に餅をつきました。待っている子たちも「よーしょー!」と応援しながら参加していました。新しい年を迎えた1月11日には、鏡開きを行いました。鏡餅をみんなで開いて、おやつの中には、おしるこにしたり、きなこやあんこをつけてお餅を食べたりして、お腹も心も一杯の新しいスタートとなりました。



成人式

児童指導員 安富 弘美

令和7年1月23日、のぞみ園地域交流ホールにて成人式を開催しました。のぞみ園を利用して、約2年を迎え一番若い利用者さんが成人となりました。いつもとは違う装いで出席し、皆さんよりお祝いの言葉や記念品を頂き、一緒に記念撮影をしたり素敵なお出になったことと思います。





認定こども園 高松くりの木学舎



ハートの葉っぱみつけたよ

たんぼ組（1歳児） 松本 奈津子

身の回りのことに親しみ、興味・関心を持って遊んでみよう！観察してみよう！触ってみよう！と探索することを日々楽しんでいるたんぼ組。保育室の中はもろろですが、戸外で思いっきり遊ぶ中で発見がとて面白いです。

かぜくみが植えて育てている野菜の成長と一緒に見ることが日課にもなっている中、「先生！葉っぱがハートだ！」と発見がありました。大根のギザギザの葉っぱの下から最初の二葉の葉が見えており、その形がハートマークに見えたのです。「こっちにもあったよ」とお友だちの声を聞いて、自然と子どもたちが集まり一緒に探す遊びが始まりました。「ハートの大根が出来るかな？」「ご飯に大根出たら見てみよう」という声も聞こえ、発見からの想像がとてもユニークで子どもらしく、また生活の中にも繋がっていつかいるなど心の成長を感じました。

今後とも生活や遊びの中で些細な発見や子どもたちの言葉を大切に、遊びをより発展させられるようゆつたりと関わっていかうと思っています。



お散歩大好き♪

れもん組（2歳児） 中山 京子

散歩に行くことが大好きなれもん組の子どもたち。初めてのお散歩は11月。花園小学校へどんぐりを拾いに行きました。地面いっぱいどんぐりを見つけた。「先生！どんぐりの頭！」「これはお母さんの、これはお父さんの。」とあちこちからどんぐり拾いを楽しむ声が聞こえてきました。どんぐりを拾いながら校庭を進むと、今度はたぐさんの落ち葉を発見。「ここ、ふわふわだよ」「シヤカシヤカいうね」と、集められた落ち葉の上を歩いて、その不思議な感触を味わう姿が見られました。保育者が落ち葉を手に取り、ひらひらと散らせて見せると、子どもたちも手に取り真似っこ。「もっ」といっばい！とたくさんの落ち葉を集めると、「えいっ」と投げ上げ、落ち葉の吹雪を楽しんでいました。

歩く力もついてきて、今では週に一度は散歩に出かけ、公園で遊んだり、電車を見たりして散歩を楽しんでいます。



サークルタイム

うみ組（4歳児） 曾根 博子

年度当初、あれ？この子たちは誰をみてるんだろう？と感ずることが多くありました。と同時に、どうして目の前に友だちがいるのにみえてないんだろう？という疑問が湧いてきました。そこから今のこのクラスの子どもたちには「みる力」「きく力」を育てていくことが大事なのではないかと考え、友だちの顔がみられて、話したり聞いたりできる場として「サークルタイム」を取り入れてみました。

サークルタイムをはじめた頃は、どこをみているのか分からずキョロキョロと落ち着かない様子でしたが、毎日繰り返す中で少しずつ友だちの顔を見るようになってきました。友だちの顔を見るようになったことで誰が話しているのかに気づくようになり、友だちの話を聞くようになり、姿も見られるようになってきています。

これからも子どもたちの姿に合わせた声かけや手立てを考え実践していきたいと思っています。



食育活動を通して育つもの

「お買い物」

主幹保育教諭

山口 あけみ

「にんじんは3種類があるよ。どれを買えばいい？」と、5歳児かぜ組さん。収穫した冬野菜を使ってシチューを作るため買い物に行った時のことです。にんじんといっても1本や沢山袋に入っているものがあり、どれを買っていいのかわからず悩んでいる様子でした。「みんなが食べるから沢山いるね」「1本では足りんよ」「じゃあ1袋買おうか」など話し合いが始まりましたが、今度はいろいろ種類があつて選ぶきれません。色や大きさを見て選ぶ子、品種の名前で決めて選ぶ子、値段の安いものを選ぶ子とすると「なんでもいいよ」と他者に促そうとする子と子どもたちの意見も様々でした。なかなか決まらなかったのですが、最後には3種類のにんじんを全部買うことで一致し、皆で袋に入れて買って帰りました。

くりの木学舎では様々な食育活動を実施しています。野菜の世話や収穫、包丁や道具を使ってのクッキングなど、楽しくおいしく食べることはもちろんですが、クッキングまでの過程で友だちと相談しながら進めていく場面も沢山あります。特に5歳児はグループで活動することが多く、話し合うことで他者の考えを知り、自分と違った思いや考えがあることに気づくきっかけにもなっています。

食育活動を通して食べるだけでなく、友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを大切にしながら取り組んでほしいと思っています。





認定こども園
長尾學舎

「おいしい! たのしい!」
「バイキング!」

栄養士 吉鷹 秋帆



12月25日にクリスマス会があり、サンタさんと遊んだり、プレゼントを買ったりしました。この日はクリスマス会特別メニュー。つき組(4歳児)と、ぎんが組(5歳児)はバイキング形式の給食でした。1年を通して三色食品群を覚え、食べ物のお働きを学んだぎんが組がメニューを考えてくれました。たくさんの料理が並んだテーブルの前にお皿を持って並び、「これにしようかな」と目を輝かせながら自分の順番がくるのを待っていました。

異年齢のグループでテーブルを囲み、「おいしいね」「これが一番好き!」などと言いながら楽しそうに食事をする姿が見られました。



「もちつき、よいしょー!」

ぎんが組(5歳児) 濱本 千尋

12月26日に、ハーティウィラ亀鶴で餅つきが行われました。



杵(きね)と臼(うす)を使った餅つきは、最近あまり見ることが少なくなっただけではないでしょうか。ほとんどの子どもが初めて見る光景だったようで、道具の名前を知ったり扱いを覚えたりする良い機会となりました。杵を大きく振りかぶったり、恥ずかしそうに控えめに振ったりする子どももいましたが、お餅を丸める作業は得意なようで、きれいな形に仕上げていました。「のりを巻いて食べた」「しょうゆをつけて食べた」等、各家庭で美味しく頂いた様子も伺えました。日本に古くから伝わる伝統的な行事に直接触れられ、体験できる機会を大切にしていきたいと思っています。

「元氣いっぱい1年になりますように!」

ほし組(3歳児) 森永 美紅

1月10日、亀鶴公園の近くにある宇佐神社に初詣に行きました。以前から亀鶴公園まで歩いてどんぐりを拾いに行ったり、少し遠くのポストへ年上の友達と一緒に年賀状投函をしに行ったりと、体力作りをしてきた子ども達。初詣当日はとても寒い日でしたが、水溜りの氷や地域の方が育てている野菜などを見つけたら歩くことで、楽しみながら宇佐神社に行くことが出来ました。お参りでは、自分でお賽銭を入れ、「二礼・二拍手・一礼」をして、大きくなったことへの感謝と「これからも見守ってください」とお祈りをしました。これからも様々な行事を通して、日本の伝統行事を伝えていきたいと思っています。



「お兄さん、お姉さんと遊んだよ!」

ほし組(3歳児) 橋本 由樹子

コロナ禍で控えていた異年齢活動を11月より再開しました。3〜5歳児54名を4つのグループに分け、ふれあい遊びや玉入れ、クリスマスツリーの飾りつけなどを行いました。

活動当初は、関わり方が分からず、自分から声をかけに行ったり、一緒に遊ぼうとしたりする姿はありませんでしたが、グループ活動で一緒に過ごす時間が増えていくにつれ、異年齢活動外でも「○○ちゃん」と同じグループの友達に手を振ったり、声をかけたりする姿が見られるようになりました。3歳児の子ども達は、年上の友達に優しくしてもらったり、可愛がってもらったりするたびに笑顔が溢れてきました。

異年齢の活動を通して、年上の子どもにも憧れをもち自分もやってみようというチャレンジする気持ちや様々な友達と遊ぶことで相手を思いやる心を育てていきたいです。



ゆたか荘



ゆたか荘開荘25周年を迎え

ゆたか荘施設長 矢野 勝久

皆様に支えられ、ゆたか荘は25周年を迎えることができました。

この節目を迎えられたのも、ご利用者・ご家族の皆様、地域の皆様、そして職員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

これからも、利用者の方一人ひとりの笑顔と安心を第一に、地域に根ざした施設としてこの先も皆様と共に歩いていきたいと考えております。





Hearty
Villa
KIKAKU

ハーティヴィラ 亀鶴

高齢者複合施設

特別なおやつのお味はいかが

ショートステイセンター・ケアスタッフ
谷口 陽子



ショートステイセンターでは、月に一回「手作りおやつの日」を設けており、この日はご利用者の皆さんと職員と一緒に、季節や行事にちなんだおやつを作っています。皆さん、にこにこしながら、真剣な表情をしながら、一緒に作ってくださいます。

出来上がったおやつは「特別な味」。普段とはまた少し違うおやつ時間を楽しんでいます。

ハーティヴィラ亀鶴

みんなで参加もちつき大会

デイサービスセンター・ケアスタッフ
坂東 仁美



年末には毎年恒例の「もちつき」。今年はデイサービスセンター、ショートステイセンター、長尾学舎の合同で開催されました。

杵の動きに合わせて「よいしょ、よいしょ」と手拍子、笑顔も加わり賑やかです。園児の皆さんは、小さい杵で挑戦です。

ご利用者の、園児の皆さんを見守る目、応援の声があたたかく、忙しい年の瀬に楽しく優しい時間を過ごせました。

のぞみを叶えよう ~わたしたちとともに~

ショートステイセンター・ケアスタッフ 八十岡 英樹



どこに行きたいですか？と聞かれれば、あのお寺にもう一度行きたい——そう答えたご利用者は、願いを叶えるためにお寺を訪れることになりました。あのお寺までの道すがら、ご利用者の目には昔の思い出が次々と蘇り、どこか懐かしさと喜びが混じった微笑みが浮かんでいました。

1日の楽しみになるように

管理栄養士 杉山 沙耶



FDL（フードデザインラボラトリー）は、ハーティヴィラ亀鶴の食事を作る部署です。管理栄養士を中心に、計5名の職員でご利用者の健康を支えるお手伝いをしています。

1年を通して、行事や季節感を大切にし、旬の食材を使用して行事に合わせた献立で四季を感じられる食事を提供できるよう心がけています。

味や彩りなどに工夫を凝らし、1日の楽しみになる食事を目指しています。

福はうち、鬼もうち！みんななかよしです

ショートステイセンター・ケアスタッフ 寺島 理香



今年も恒例の、豆まきの季節です。職員が鬼に扮して各ユニットをまわります。ご利用者は皆さん目を輝かせて、新聞でできた豆を鬼の背負った的にめがけてぶつけます。鬼退治の場面なのに、なぜか笑いが絶えません。最後には記念撮影「パシャリ！」

心優しい鬼さんたちと、すっかり仲よくなりました。

節分に鬼参上！その正体は……

デイサービスセンター・ケアスタッフ 犬伏 美和



今年の節分、デイサービスセンターではひょうきんな鬼が登場しました。迫力満点で登場！と思いきや、意外と頼りなくて優しい鬼でした。ご利用者の皆さんも、鬼の正体は何となく分かっていたらっしゃる様子、新聞で作った大きな豆をニコニコ笑顔で当てています。

これで、今年も皆さん笑顔で元気に過ごせることでしょう。

(有)の山松松香小吉井か冬な
アぞ 上ね木の
地 原西林川 と
ンみ ヒう
青 辰恵憲良
ザ葉 口み葉
イ局果屋雄子一子ミ科子局
様様様様様様様様様様様様

ご支援ありがとうございました
*
🍡 🍡



御下賜金
のぞみ園 園長 岡 慎也

2月21日、御下賜金の伝達式が香川県庁にて行われました。毎年天皇陛下より優良社会福祉事業団体として金一封が下賜されることになっており令和6年度、香川県からはのぞみ園が選ばれました。
長年に渡る障害福祉の増進に努めてきたことが認められるという形になりましたがこれを励みに今後もしっかりと地域の需要、ニーズに応えられるよう取り組んでいきたいと思っております。

デイサービスセンターゆたか



楽しいレクリエーションを……
主任 渡辺 伸一

立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ厳しい寒さが続いております。デイサービスゆたかでは寒さに負けず、楽しく体を動かして頂けるレクリエーションを考え提供しています。
その中でもこの時期、特に人気があるのは「足浴」です。温かいお湯に足をつけ、温め血行促進する事で体の芯から温まるとご利用者の皆さんに喜ばれています。体が温まると自然と表情も和らぎ、職員や顔なじみの方との交流の場ともなっています。
生活の中で楽しみがあり張りや生きがいを感じられる場になるよう今後もその方に添ったサービスやプログラムを考えて提供できるように努めて参ります。

ケアプランセンターゆたか

～「自分らしい生活」を応援します～
センター長 鎌倉 節子



ケアプランセンターゆたか
住所：さめき市長尾西 1602-1
電話：(0879) 23-6518
(受付時間)
月曜日～金曜日
午前 8:30～午後 5:30
◎ご相談の費用は、無料です。

編集後記
今回は法人創立30周年を迎える記念の号となりました。応援して下さる皆様に感謝を申し上げます。気持ち新たに、少しでもご利用者の皆様へご家族様のお力になればと思います。
(塚田)

ケアプランセンターゆたかでは、現在4名の介護支援専門員が相談業務を行っています。
「介護のことで悩んでいる」「ひとりで困っている」ということはありませんか。
お一人おひとりに合った暮らし方を、一緒に考えていきます。
お気軽にご相談ください。